

育成を目指す資質・能力

- （思・判・表等）・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。C（1）ウ
- ・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。Cア
- （知識及び技能）・文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（1）カ
- ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（2）ア

ICT活用のポイント

「名前」「場所」「体の特徴」「隠れ方」がそれぞれ1枚のカードになっていて記入しやすい。生き物の写真を貼り付けて発表できるため、視覚的にも捉えやすい。

【つかむ】

- ・生き物について興味を持ち、単元の課題を確認する。

単元の課題

生き物が、どんなかくれんぼをしているか調べて、友達に説明しよう。

【追究する】

- ・事柄の順序を考えながら読み、生き物の隠れ方を捉える。
- ・教科書の事例の順序に沿って、自分なりにカードにまとめる。

【まとめる】

- ・調べた生き物のかくれかたを、友達に説明し、全体交流する。

事例の概要

- 事柄の順序に気をつけて読み、生き物の隠れ方や構成・内容の特徴を捉える。自分が興味をもった生き物について、教科書の順序に沿って、自分なりにカードにまとめ、発表する。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 「生き物の名前」「場所」「体の特徴」「隠れ方」を4枚のカードにわけて入力。手書き文字を自動で文字変換する機能を使う。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 自分なりにまとめたカードを発表する場面で、電子黒板やICT端末を使い、一覧表示する。

【国語科・1学年・「うみのかくれんぼ」】②

【事例におけるICT活用の場面①】

「文字変換機能」を使ったカードへの入力



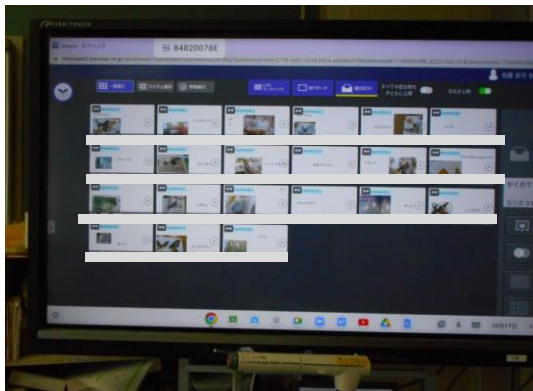
手書きで書いても、パソコンの文字に自動で変わるから読みやすいね。生き物の写真も入れたよ。

自分のカードに書き込む時に、文字変換機能を使うことで、全体共有の場面でカードが読みやすかった。生き物の写真を取り込むことでよりよい作品となり、児童は達成感を感じることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】

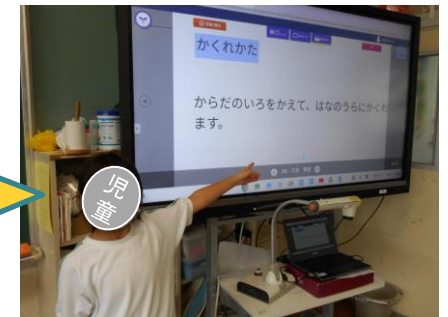
「カード」を「電子黒板」と「ICT端末」で共有

できあがったカードを送って、みんなの作品を見てみましょう。



できたカードを提出し、全員がそろった間は、共有して見合うことにした。友達のカードを見ることができるので、比較や新たな発見がしやすくなった。

わたしの調べた生き物について発表します。



「生き物の名前」「場所」「体の特徴」「隠れ方」にカードを分けることで、それぞれを端的にまとめることができ、発表もスムーズにできた。

【活用したソフトや機能】

教科書デジタルコンテンツ

学習支援ソフト（データ提出・受信・一覧表示）